

住宅用火災警報器 ～維持・管理が大切です～

住宅用火災警報器は、命を守る大切なものです。

「いざ」というときのため、月1回の点検をしましょう。

●点検の方法

◆点検は、ボタンを押すもの・ひもを引くものがありますので、確認しましょう。

※点検をして音が鳴らない場合は、電池切れや故障が考えられます。



(例) ボタンを押すタイプ

●奏功事例

◆喜多方市内の住宅で、ガスコンロに鍋をかけたまま、火を消し忘れて出掛けてしまった事例。

☆充満した煙を、住宅用火災警報器が感知し、鳴動したため隣人が気がつき火災に至らなかった。

●交換の時期

◆警報器の寿命は、約10年です。設置後に10年が経過する前に新しいものに取り換えてください。(製造年月日は本体に記載)

※寿命の短い警報器もあります。取扱説明書で確認するか、製造メーカーに問い合わせで確認してください。